

平日空間

気軽に立ち寄れる空間作り (中央地区&モール505編)

街中に市民が気軽に立ち寄り、人々と交流することのできるサードプレイスを整備する。

* モール505

1・2F: サードプレイスエリア

3F: NPO共同事務所・中間支援組織

* 中央地区

アーケードのある通り: 飲食店エリア

亀城公園前: 地域コミュニティ商店街



このように整備することにより
中心市街地に人々の賑わい
を取り戻すものとする。



飲食エリア
修景イメージ

体制整備

サードプレイス維持のための 体制政策

NPOをサードプレイスの運営主体とし、NPOの活動を活性化させるためにNPOをサポートするNPOの設立を提案する。

具体的には人材育成、マネジメントノウハウの提供、NPO間のネットワーク促進、行政・企業⇄NPOの相互理解の促進などを主な業務内容とする。
この組織を土浦市に置くことにより、サードプレイスの整備のみではなく、土浦全体の市民活動が活性化していくことを目指していく。

2012年度都市計画マスタープラン策定実習 第4班
星野奈月 赤澤邦夫 小磯和紀 佐藤祥路
矢田晃一(TA)

1st Place
自宅



2nd Place
学校 or 仕事場



住民が積極的に
ヒト・モノ・コトと
交流し、打ち解ける

「土浦市」

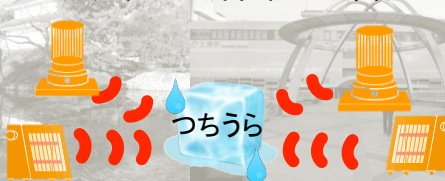
3rd Place
憩い・交流空間



Third Place 土浦アイスブレイク計画

私たちは土浦市のまちなかに
人付き合いがあり、
自分が落ち着けるような
3rd Placeをつくるための
提案を行いました。
この提案により土浦市が
昔のような
活気あるまちになることを
目指していきます。

※アイスブレイクイメージ図



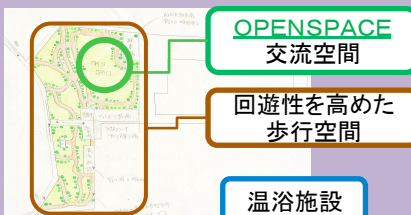
週末空間

楽しく生き活きとすごせる空間作り (産業&霞ヶ浦編)

週末を土浦で過ごせるような空間を整備する。
駅前月に1回マーケットを開催する。コンセプトを
アイスブレイクとし、人々が留まり交わり、そして新規商
品・企画の開発を目指していく。



また霞ヶ浦を憩いと交流の空間とするために、住民の目
的の創作を図る。そのために以下のように空間整備を
行う。



OPENSOURCE
交流空間

回遊性を高めた
歩行空間

温浴施設



交通政策

人々がアクセス・交流しやすい 交通政策

公共交通を市民が使い、市民によって残していくことを
コンセプトとし、衰退している公共交通を活性化させるこ
とを目指す。

まずサイクル&バスライドを実施し、住民の公共交通利
用促進を図り、そして市役所職員の公共交通での通勤
を原則化することにより、事業者の増収によるバスの増
発を目指す。

サイクル&バスライドイメージ図

